

私は、3週間母校の中学校に行き実習してきました。最初の1週間は何もかもが初めてで、学ぶことよりも、疲れたという気持ちが強かったです。生徒の名前もあまり覚えることができていなく、コミュニケーションをとることもあまりできませんでした。でも、次第に慣れてきて、体育の授業では普段通りの大きい声を出し、たくさんの生徒に声をかけてあげられるようになりました。特に体育の苦手な生徒には、たくさんの言葉をかけ、手を引っ張って「頑張ろう！」と声をかけ、一緒に走ったりもできました。ここで私は、生徒1人1人に言葉をかけてあげられるのと、あげられないとは全然違うなと思いました。言葉かけの大切さを学びました。言葉をかけてあげられる、自分から生徒に心を開くことができてからは、自分自身も体育をととても楽しく指導することができ、また、生徒もととても楽しそうに取り組んでくれました。生徒に、「先生の授業楽しい！」と言われた時には、とてもうれしかったです。生徒はすぐに、やる気ない、だるいなどの言葉を言ってしまいますが、ほんとは、何事にも一生懸命取り組みたいと思っているし、頑張ろうと思っている生徒ばかりなのです。その頑張りたいという気持ちを先生がどうやって引き出してあげるかが重要となるのだと思いました。気難しい生徒もいましたが、1人である時などに、声をかけると、話すことができました。生徒とたくさん関わることができたので、体育だけではなく、保健の授業や、道徳なども、しっかりと授業することができました。

私は、この実習で、たくさんの生徒とコミュニケーションをとることができて本当に良かったと思います。やはり、先生になった時に生徒とコミュニケーションをしっかりと取ることができれば、生徒との信頼関係も築くことができると思います。何が正しいのかはわかりませんが、私は生徒とたくさんコミュニケーションを取り、生徒を理解してあげることが大切だと思いました。

また、私は、部活動でも生徒を指導しました。バドミントン部はとてもレベルが高く、私も一緒になって生徒と試合をしたり、練習を一緒に行いました。指導するだけではなく、一緒になって何かするということのできたので、生徒との距離も近くなれたと思います。部活動でもたくさんの生徒と話をしたり、進路の話などしました。生徒は本当にみんな一生懸命で、とても可愛く、愛おしくなりました。土日に試合があったので応援に行ったのですが、みんなとても頑張っていました。涙する生徒もいましたが、とてもいい刺激をもらいました。私も大学でまた頑張ろうと思いました。たくさんの生徒に「絶対先生になってね。」と言ってもらうことができたので、自分のためにも、応援してくれるみんなのためにも絶対に教師になろうと思いました。学校だけではなく部活動でも、たくさんの生徒と関わることができて本当に良かったです。

この3週間、とてもいい経験ができました。この3週間は私にとって一生の宝物です。学んだことや、感じたことを忘れずにこれからも頑張っていこうと思います。また、たくさんの先生方に頂いた言葉を大切にしていきます。そして、いつも支えてくれる家族や先生方、友達などたくさんの人に感謝して、これからも努力していきます。